

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 川崎市住宅・建築物等整備計画(4期)(防災・安全)

都道府県名: 川崎市

(防災・安全)

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
上位計画等(川崎市総合計画、川崎市住宅基本計画及び川崎市耐震改修促進計画等)と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
地域の課題を踏まえた目標設定がされている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性	
目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
指標・数値目標は、市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	
ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされ、十分な事業効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の可能性)	
計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
⑧地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の可能性)	
住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現が見込まれる。	○